

## 外国人材の受入れ促進に向けた取組みについて(概略)

### 現状・課題

- これまで県では、経済団体等の皆様と、経済交流ミッションでアジア諸国を訪問し、各国との「Local to Local」での経済交流を進める中、今年1月中旬に訪問したベトナムとインドネシアは、母国の経済発展に寄与する人材育成や就労機会の創出のため、各国政府の主導により、一定の技能や語学力を身に付けた人材の育成に取り組んでおり、海外へ精力的に人材を送り出したいとの意向が示されました。一方で、県では、県内事業者が求める具体的な人材像や人数を把握できておらず、開拓したルートの活用が課題となっております。
- 外国人材の確保は、日本国内だけでなく、国際的にも競争が激化しており、安定的かつ優秀な人材確保に向けては、県内事業所とも連携した取り組みが欠かせません。
- 令和9年4月から技能実習制度が育成就労制度に切り替わるタイミングでもあり、引き続き、新制度でも県内事業所が求める外国人材の確保と定着の側面支援や、企業経営の中核となる高度外国人材の獲得支援に取り組む必要があります。

### 対応策

- 人手不足に直面する県内企業が外国人材の確保に適切かつ安定的に取り組むことができるよう、県では、令和7年度から企業向けの相談サポートデスクを開設したほか、就労や住環境の整備に取り組む事業者への補助制度の創設、日本語の学習支援等に取り組んでいます。
- これらに加え、県内経済団体や事業者の皆様とも緊密に連携しながら、これまでの海外との人材交流を通じ、送出国の政府や人材育成機関と得られた協力関係なども生かしつつ、県内企業が求める優秀な外国人材の受入れを支援します。

### 令和8年1月のベトナム・インドネシア経済交流ミッションの様子



ベトナム人技能実習生との意見交換  
@ベトナム大手の送出機関・ESUHAI 社



インドネシア人技能実習生の送出し・受入れの促進に関する覚書の締結  
@インドネシア労働省